

7/7 (土)

戦争を始めた日

侵略戦争をはじめた日に。同じ過ちを繰り返さないと誓う集いを。

国会前市民集会

7月7日 (土) 18時～20時 国会議事堂正門前・北側歩道

同日 14時～16時30分 ●日比谷図書館ホールにて講演集会 (詳細はウラ面をごらんください)



写真 (3点とも)
2017年7月7日/8日、国会前集会

**ノーモアヒロシマ・ナガサキと同じように
「ノーモア7.7」を誓う責任が、私たちにはあります。**

日本では戦争被害を受けた日に大きな集会が行われますが、ドイツでは加害を始めた日に大きな集会が開かれます。私たちも、加害の歴史と向き合い、被害を受けたアジア太平洋地域の人々と向き合い、そこから不戦を誓う日を作りましょう。

私たちは、日本が日中戦争を始めた7月7日に、国会前集会を呼びかけます。

**かつて陸軍省・陸軍参謀本部があった「国会正門前」。
その場所に、1日限りの「平和広場」を作りましょう。**

9条改憲だけではなく、南西諸島への自衛隊基地配備、自衛隊版「海兵隊」創設、「日本会議」など極右政治家の暗躍、武器輸入・輸出、軍産学共同、道德教育などの国家主義教育の強化、天皇代替わりや五輪を通じた民衆管理、共謀罪など、安倍たちが敷いた「戦争へのレール」を取り外すために、集まり、語らしましょう。



地下鉄
霞ヶ関駅



地下鉄
国会議事堂前駅

主催；7.7 国会前集会実行委員会

●HP <https://20180707blog.wordpress.com/>

メール●1937to2018@gmail.com

問合せ●090-2647-3722 (植松)

7月7日(土)の概要

午後の部〈講演集会〉14時～16時30分 ◎@日比谷図書文化館・大ホール

講師；早川タダノリさん（フリー編集者）／資料代700円／先着200名

◀「子供が良くなる講談社の絵本」と書かれた表紙をめくると、中国兵を殺しまくると日本兵の「勇姿」が溢れかえる「支那事変大手柄絵話」1938年刊。



「よい日本人」の戦争 ～日中戦争から現在へ～

日中戦争前後の「よい日本人」像から、現在の「クール・ジャパン」戦略のなかでの「日本人」像までをたどり、「日本スゴイ」コンテンツのなかで今も生きる「アジアを解放した大東亜戦争」観を『神国日本のトンデモ決戦生活』『日本スゴイのディストピア』などの著作でシャープな批評を続ける早川タダノリさんがわかりやすく解説します。



夕方の部〈国会前市民集会〉18時～20時 @国会議事堂正門前北側歩道／雨天決行

第1部◎ゲストスピーチ※6/4時点で確定のかたがたを紹介しします



澤地久枝さん（予定）

4～14歳まで過ごした満州での体験を書き記した『14歳（フォーティーン）』など、戦争と植民地主義を問う作品を発表し続けています。（さわち・ひさえ、ノンフィクション作家）



海野慎治さん

日本軍の毒ガス兵器で多くの人が殺害された中国河北省の村を訪れ、被害に遭った人々の言葉を伝えています。（うんの・しんじ、元小学校教員）



遠藤美幸さん

中国雲南省に侵攻し壊滅した日本軍兵士の聴き取りを10年以上続け、著書『「戦場体験」を受け継ぐということ』にまとめられました。（えんどう・みゆき、大学非常勤講師）



北宏一朗さん

戦前の日本軍毒ガス兵器を製造した企業の実態を企業の社史などから実証的に研究し、その加害責任を問い続けています。（きた・こういちろう、民間研究者）

第2部◎オープンマイク形式の対話集会

昨年に引き続き、参加者にマイクをお渡しして、対話を深めていく形式です。好評につき、今年も行います。

集会コンセプト・主催について（Q&A）

Q；7月7日とはどういう日ですか？

A；北京近郊で盧溝橋事件が起きた日です（1937年）。周到に計画された「中国への侵略」の開始日でした。

◎この日に始まった中国侵略は45年8月の終戦まで8年間の長期に及び、莫大な被害を中国の人々に与えました。そして、「偶発的に始まった」と教えられることの多い日中戦争ですが、実は陸軍・海軍それぞれが周到に中国全面侵略を準備しており、しかし当時の国民には伏せられていたことが、現代史の研究者によって明らかになっています。

Q；なぜ、戦争を始めた日に集会を設定するのですか？

A；「同じ過ちを繰り返さない」ことを、アジア太平洋地域の人々に誓う必要があるからです。

◎ドイツでは、ナチスドイツによる加害行為が始まった日に、反戦・平和集会が開かれます。そして、被害を受けた人々やその遺族に、同じ過ちを繰り返さないことを誓います。日本の反戦・平和運動にも、「ノーモア・ヒロシマ／ナガサキ」と同じように「ノーモア7.7」「ノーモア侵略」言い替えると「同じ過ちを繰り返さない」と誓う集会が必要だったし、これからもますます必要ではないかと思うのです。

Q；なぜ、国会正門前なのですか？

A；その付近に、旧陸軍省・陸軍参謀本部があったからです。

◎国会正門前の北側、憲政記念館の周辺は、1941年まで日中戦争開始時には陸軍省、陸軍参謀本部がありました。海外には、民衆への加害・迫害の中枢だった場所を、その加害の歴史を記憶するミュージアムに転用している例が多くあります。日本も、陸軍省跡を戦後「侵略と植民地支配の過ちを反省する場所」にすべきでした。今回、この場所を1日限定の平和広場にしていきたいと思います。

Q；どういう人たちが企画しているのですか？

A；有志の市民グループの協力で実行委を結成しました。

◎昨年2017年は、「日中戦争80年市民フォーラム」（南京虐殺事件の研究に参加している市民を中心にした小グループ）の単独開催で行いました。◎今年は「市民フォーラム」だけではなく武蔵野市で戦争加害の問題に取り組んでいるグループ、府中市で同様の問題に取り組んでいるグループなどが加わり「7/7国会前集会実行委」が企画準備に携わっています。ちなみに武蔵野市はかつて戦闘機エンジン工場、府中市は陸軍の燃料廠があり、侵略戦争体制に深く組み込まれた地域でした。

「よい日本人」の戦争 日中戦争から現在へ

早川タダノリさん（『「日本スゴイ」のディストピア』著者）講演会



戦前の国定修身教科書の末尾には「よい日本人」という項目が設けられ、国家が求める人間像が掲げられていた。日中戦争前後の「よい日本人」像から、現在の「クール・ジャパン」戦略での「日本人」像までをたどり、「日本スゴイ」コンテンツのなかで今も生きる「アジアを解放した大東亜戦争」観を浮き彫りにする。

◀日中戦争が始まった1938年頃、大日本雄弁会講談社（講談社の前身）から刊行された子供向け絵本の一例。

「子供が良くなる講談社の絵本」と書かれた表紙をめくると、中国で殺しまくる日本兵の「勇姿」がこれでもか、とばかり溢れかえる。

※早川タダノリさんのブログ「虚構の皇国ブログ」2013年08月28日の記事より転載



講師：早川タダノリさん

1974年生まれ。フィルム製版工などを経て、現在は編集者として勤務。ディストピア好きが高じて20世紀の各種プロパガンダ資料蒐集を開始。著書に『「愛国」の技法』（青弓社）、『神国日本のトンデモ決戦生活』『原発ユートピア日本』（ともに合同出版）などがある。「虚構の皇国blog」（<http://d.hatena.ne.jp/tadanorih/>）などでも発信中。



日比谷図書文化館／地下鉄霞ヶ関駅 C1 出口 150m、B2 出口 150m



7月7日（土） 14時～16時30分

@日比谷図書文化館・コンベンションホール

資料代 700 円／先着 200 名／開場 13 時 30 分

※ 18 時～20 時には国会正門前で市民集会を開きます

主催：7.7 国会前集会実行委員会

● HP <https://20180707blog.wordpress.com/>

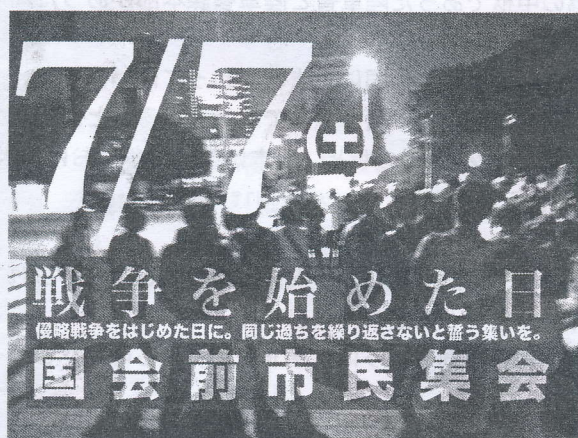
● メール 1937to2018@gmail.com

● 問合せ：090-2647-3722（植松）

戦争を始めた日

侵略戦争をはじめた日に。同じ過ちを繰り返さないと誓う集いを。

国会前市民集会



【タイムテーブル】

17時45分頃から◎音楽演奏（なりぞうさん）

18時15分頃から◎主催者挨拶、「集会宣言」案を読み上げ

18時30分頃から◎ゲストスピーチ（順不同）

- ・澤地久枝さん

- ・北宏一朗さん

- ・海野慎治さん

- ・遠藤美幸さん

- ・中島幼八さん

19時15分頃◎音楽演奏（なりぞうさん）

※運営費用カンパ呼びかけを予定しております

19時30分頃◎オープンマイク

※お1人3分～5分程度でお願いします。

20時以降（時刻詳細未定）◎「集会宣言」採択

※以後、音響設備を縮小して行う可能性があります

戦争を始めた日（日中戦争 81 年）国会前市民集会 集会宣言（案）

2018 年 7 月 7 日 ● 7.7 国会前集会実行委員会・提案

中国をはじめ、日本の侵略行為の被害を受けたアジア太平洋地域に住むみなさまへ
そして、日本に住む平和を求めるすべての皆さまへ

私たち日本に住む市民有志は、昨年に引き続き、中国への全面侵略戦争開始から 81 年のこの日、
ここ国会議事堂正門前に集まりました。

ここは、かつて侵略行為の中枢であった陸軍省と陸軍参謀本部があった場所です。

この日本という国は、侵略戦争をしない国に生まれ変わってはいません。

私たちは、かつての「大日本帝国」を本当の意味で終わらせることができていません。

「戦後」冷戦構造の中で、日米安保体制のもと、日本は朝鮮戦争における米軍の補給基地となり、
「戦争を支える国」に作り替えられました。

その上に、今、再び「戦争をする国づくり」が安倍政権のもとで進められています。

戦争へ誘導する「レール」が着々と敷かれています。

日中戦争における「暴支膺懲」と同じように「暴北膺懲」とも呼ぶべきキャンペーンが張られ、
改憲と軍拡が叫ばれてきました。

いま、朝鮮戦争の終結が米朝両国で議論され、東アジア冷戦構造が大きく変わり始めようとするなか、
安倍政権はなおも軍事緊張の継続を願い、東アジアの平和を妨げようとしています。

そして、朝鮮半島の軍事緊張が緩和された時には、中国をこれまで以上に仮想敵と見なし、
尖閣諸島などで軍事緊張を自ら作り出す可能性もあります。

かつての日中戦争の「前史」と同じ過ちが再び繰り返されようとしています。

侵略行為に直接関わっていない私たち戦後世代ですが

同じ過ちを繰り返さない、再発防止の責任はあります。国に償いを履行させる戦後責任があります。

まず、何よりも安倍政権を一刻も早く退陣させなければなりません。

さらに、戦争をする国へ向けて安倍政権が敷いた「レール」を取り外していかなければなりません。

そして、本当の意味での「戦後」＝戦争の事後責任を果たし、被害者に償い、可能な限りの人権回復に
努めていく時代、本当の意味での平和を作り出す時代、私たちは、それらを作り出す責任があります。

私たちは、この 7 月 7 日という日を、

二度と同じ過ちを繰り返さないと誓う日、不戦の誓いの日として、

この国が本当に「二度と戦争をしない国」に生まれ変わらせることを誓い、

「大日本帝国」を本当に「終わらせる」ことを誓い、

本当の意味での「戦後」を構想し、行動していくことを誓う日にします。

【 ゲ ス ト ス ピ ー カ ー の ご 紹 介 】



澤地久枝さん (予定)

4～14歳まで過ごした満州での体験を書き記した『14歳(フォーティーン)』など、戦争と植民地主義を問う作品を発表し続けています。

(さわち・ひさえ、ノンフィクション作家)



遠藤美幸さん

中国雲南省に侵攻し壊滅した日本軍兵士の聴き取りを10年以上続け、著書『「戦場体験を」受け継ぐということ』にまとめられました。

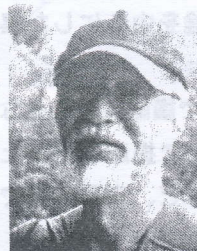
(えんどう・みゆき、大学非常勤講師)



海野慎治さん

日本軍の毒ガス兵器で多くの人が殺害された中国河北省の村を訪れ、被害に遭った人々の言葉を伝えています。

(うんの・しんじ、元小学校教員)



北宏一朗さん

戦前の日本軍毒ガス兵器を製造した企業の実態を企業の社史などから実証的に研究し、その加害責任を問い続けています。

(きた・こういちろう、民間研究者)



中島幼八さん

満州で生まれ、1958年、16歳のとき「中国残留孤児」として旧満州からたった一人で日本に戻り、2015年には日中両国で孤児時代の回想記『この生あるは』を出版されました。

(なかじま・ようはち、元中国残留孤児)

主催団体について

●昨年 2017 年は、「日中戦争 80 年市民フォーラム」（南京虐殺事件の研究に参加している市民を中心にした小グループ）の単独開催で、7 月 7 日と 8 日の両日に行いました。



●今年は「市民フォーラム」だけではなく武蔵野市で戦争加害の問題に取り組んでいるグループ、府中市で同様の問題に取り組んでいるグループなどが加わり、「7/7 国会前集会実行委」がつくられました。

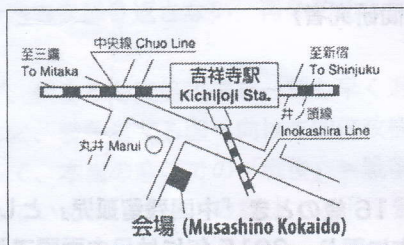
（ちなみに武蔵野市はかつて戦闘機エンジン工場、府中市は陸軍の燃料廠があり、侵略戦争体制に深く組み込まれた地域でした）

【今後の予定】

9 月 16 日（日）14 時～17 時
討論中心の集会

@武蔵野公会堂第 4 会議室（定員 50 人）

（吉祥寺駅南口徒歩 2 分）



●9 月 18 日は、日本が中国東北部（「満州」）侵略を開始した日（満州事変）です。

この近くの日、討論を中心にした集会を予定しております。

●きょう 7/7 国会前で議論し尽くせなかったこと、集会宣言（案）で提起した私たちの課題にどう取り組むかなど、意見交換できたらと考えております。

●ゲストなど詳細は未定です。追ってウェブサイトなどに公開予定です。

主催；7.7 国会前集会実行委員会

ウェブサイト <https://20180707blog.wordpress.com/>

メール●1937to2018@gmail.com 問合せ●090-2647-3722（植松）

日比谷から国会正門前へのご案内

コンビニ、お食事場所など

徒歩ルート；最短ルートは①か②です。約 800m です。

コンビニ、カフェ、花まるうどんなどに立ち寄りたい方は③虎ノ門経由ルートで。

地下鉄ルート；千代田線でも、丸の内線でも国会議事堂前駅に行けます。

4 番出口 (▲印) から④ルートで 400m です。



このあたりに
霞ヶ関ビル地下
にも、ラーメン店み
かあります

コンビニ、カフェ(エスプレッソ、カフェオレ)
うどん(花まるうどん)屋みかあります。

『日中戦争全史』 を読む会

第4回

南京事件（1937年12月）と
それ以降を中心に

日本はなぜあのような巨大な侵略戦争を
起こしてしまったのか？

日本人が省みてこなかった侵略のプロセス、
その前の周到な準備プロセス＝前史を
丁寧に説き起こした「日中戦争全史」。

府中市で続けている読書会は次回で4回目。
日本テレビで放映されたNNNドキュメント
「南京事件II」なども視聴しながら進めます。

※初参加の方にも、前回（1～4章要約部分）までの
レジュメをお渡しします。

第4回

8月26日（日）

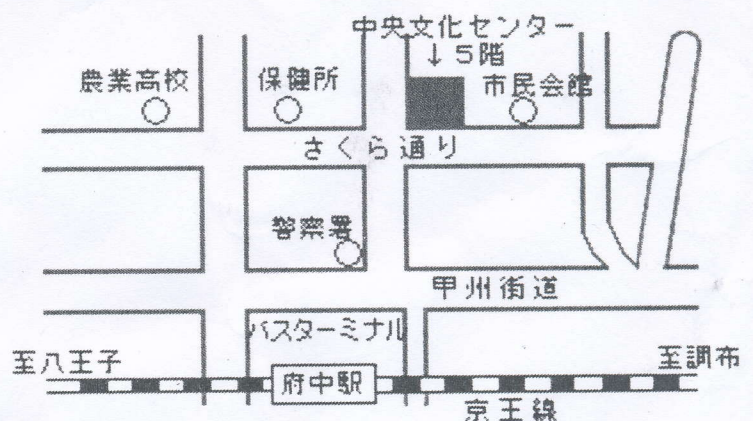
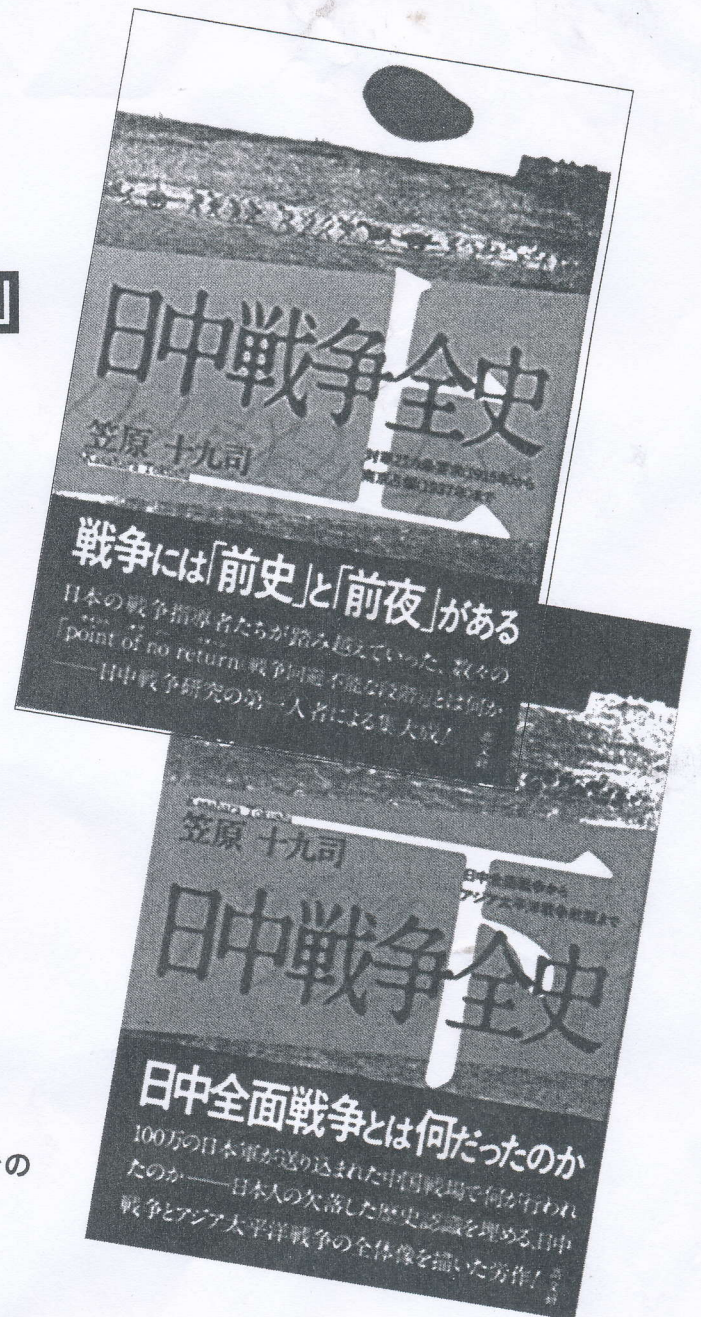
14時～16時30分

府中・中央文化センター

第1会議室

※京王線府中駅・北口徒歩5分

※資料代を実費でいただきます



企画・主催；「日中戦争を考える」写真展・講演会府中実行委員会
連絡先；牧野（080-3170-3375）植松（090-2647-3722）
メール 1937to2017@gmail.com